

説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.15	行	27行目
事業名	応急的堤防強化		河川名	木津川下流		
府 県	京都府	市町村	沿川市町	地先	-	

●現状の課題  
現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有していない。破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。

●河川整備の方針  
②応急的な堤防強化  
破堤の危険性及び被害ポテンシャルを踏まえ、応急的な堤防強化を実施。  
その際、被害の分散化、上下流バランス、投資効率を検討。

●位置図

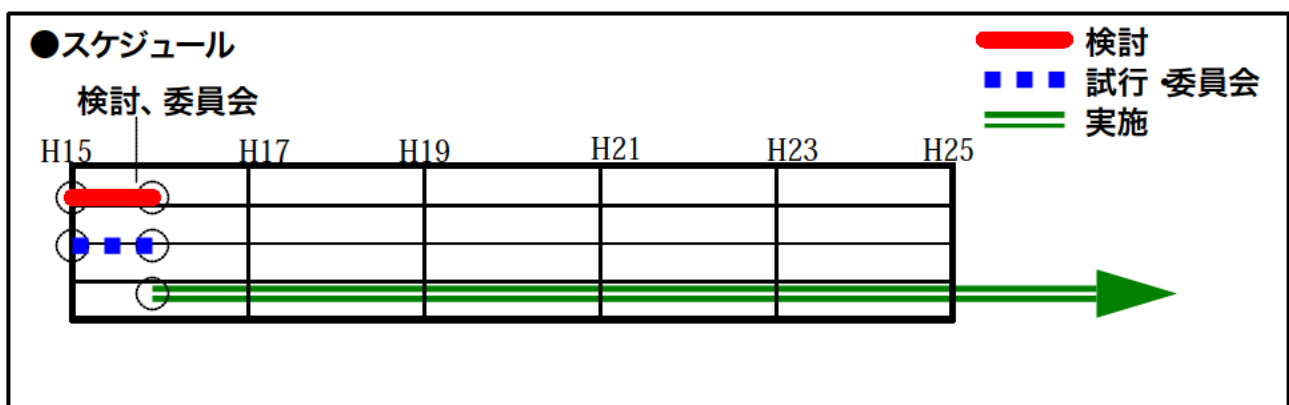


事業箇所

●具体的な整備内容  
・応急的堤防強化延長 約 55km

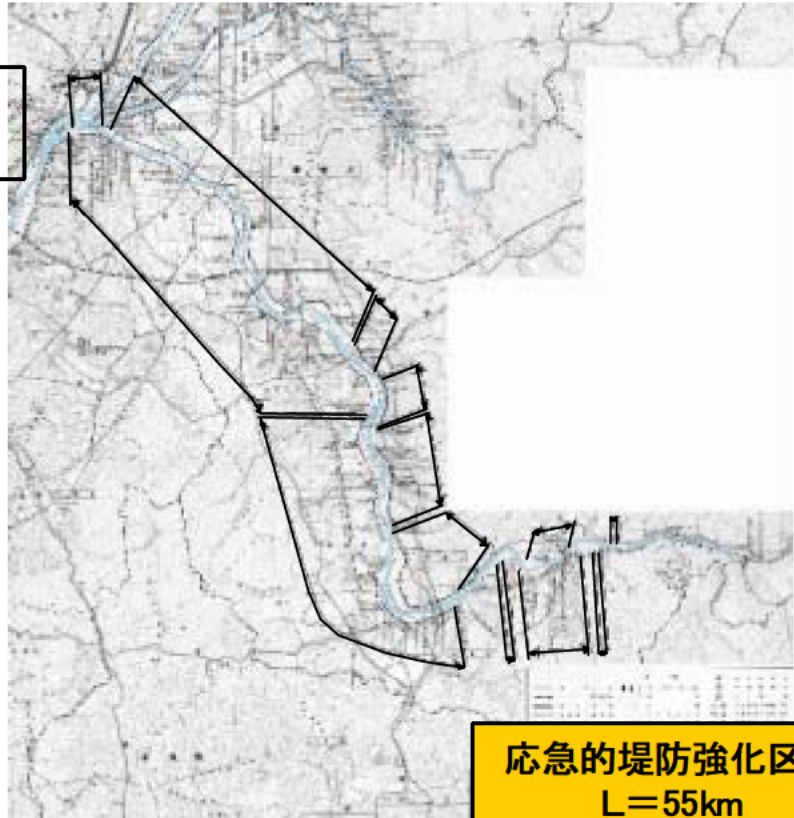
●事業の数量 諸元等  
浸透対策 L=54km  
洗掘対策 L=21km  
越水対策 L=42km  
(対策延長 重複有り)

●事業費  
全体事業費 約 2,000億円  
・うち整備計画期間内事業費 約 1,100億円



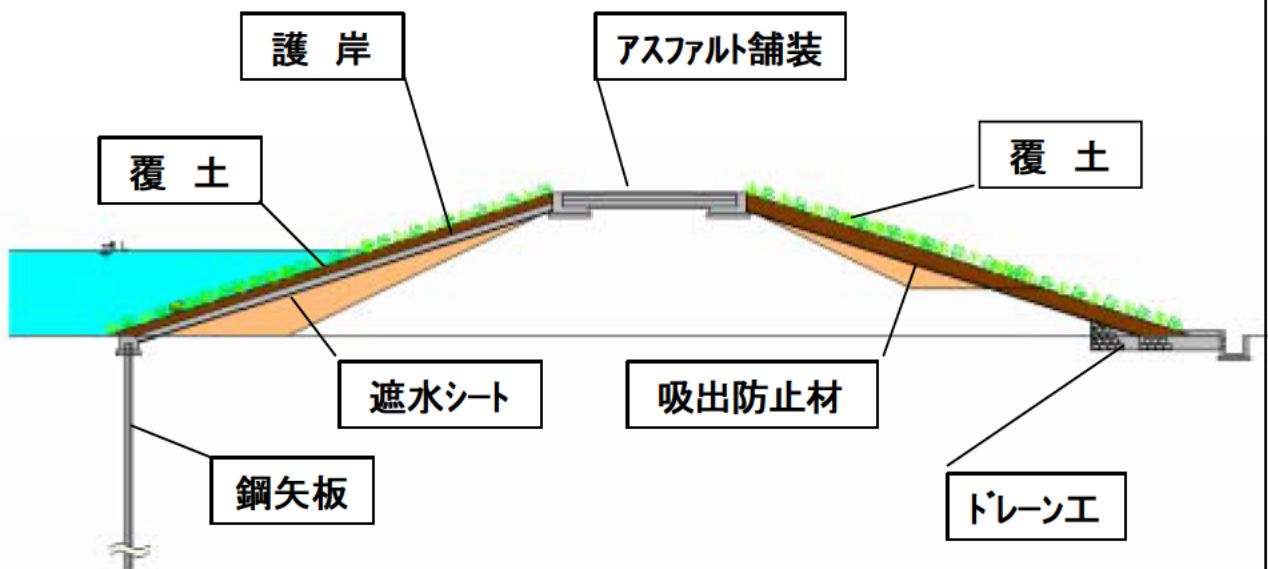
●平面図

木津川



応急的堤防強化区間  
L=55km

●横断面図



説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.16	行	2行目
事業名	小谷地区浸水対策		河川名	木津川下流		
府 県	京都府	市町村	加茂町	地先	小谷	

●現状の課題  
堤防高が比較的低く、破堤による大きな被害の危険性は少ないものの、狭窄部が支障となっており、浸水が生じやすい地域である。

●河川整備の方針  
③無堤地区等の浸水被害の軽減  
一連区間の整備が進められてきており、ごく一部の区間のみが未整備である区間等については、速やかに事業を完了し浸水被害の軽減を図る。

●位置図



事業箇所

●具体的な整備内容  
小谷地区において継続実施

事業の数量 諸元等  
盛 土

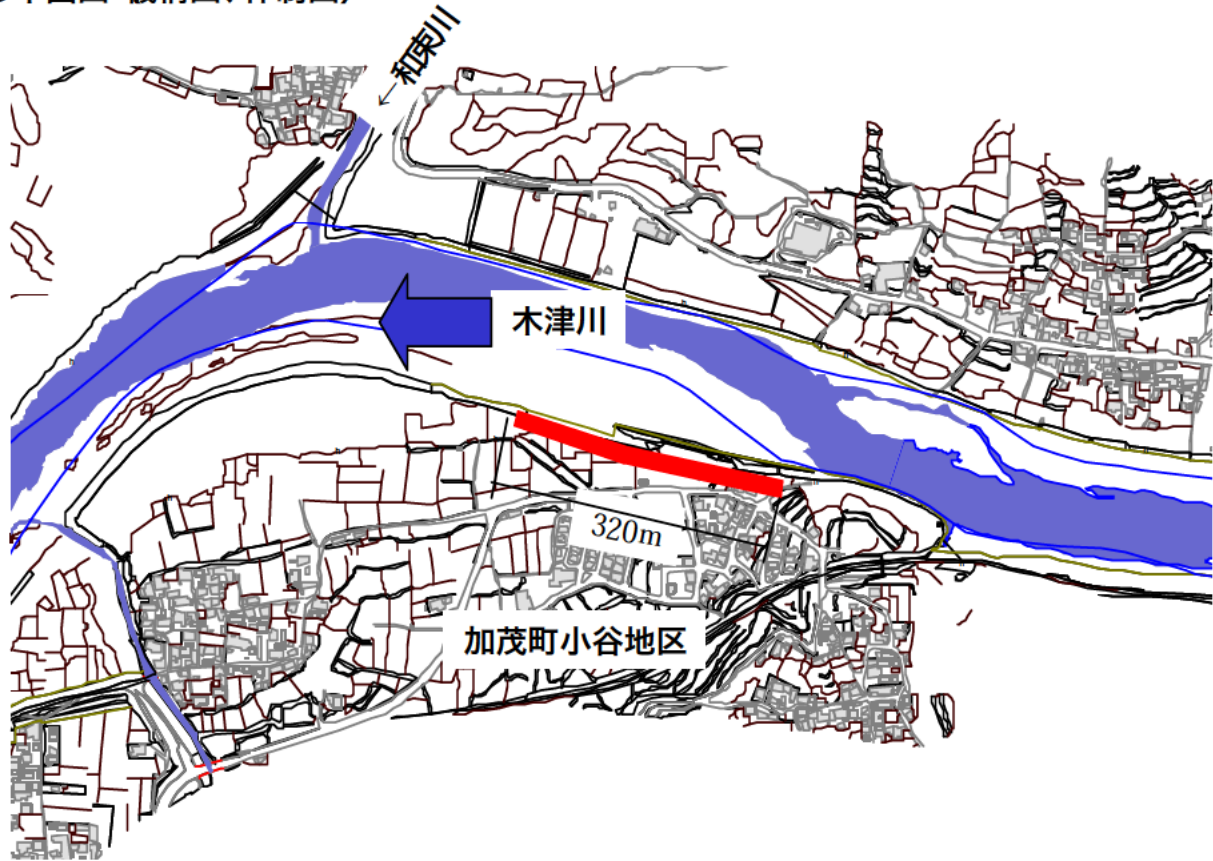
●事業費  
全体事業費 約 6億円  
・25整備計画期間内事業費 約 0.4億円

●スケジュール

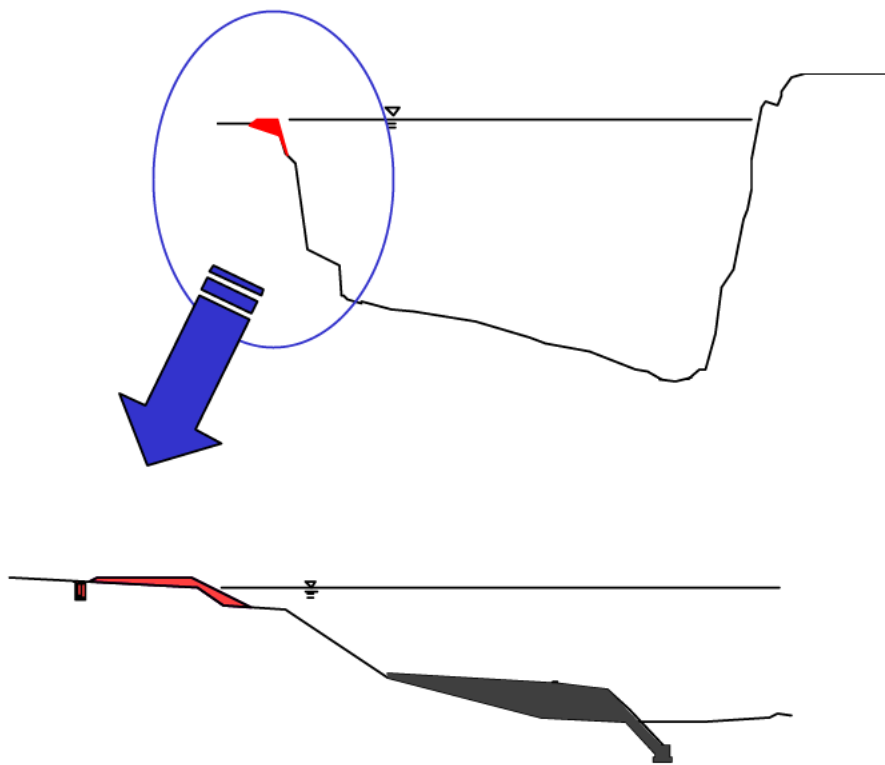
H15	H17	H19	H21	H23	H25
○					

■ 検討  
■ 試行 委員会  
■ 実施

●平面図 機構図、体制図)



●横断面図

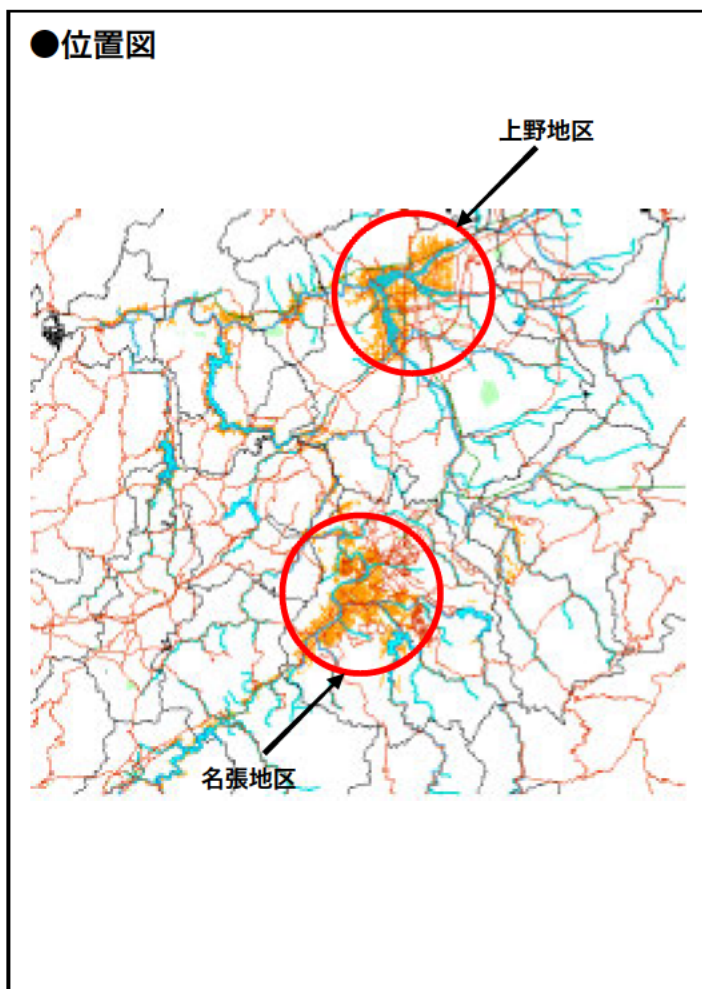




説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5.3.1	ページ	p.16	行	7行目
事業名	応急的堤防強化		河川名	木津川上流		
府 県	三重県	市町村	上野市・名張市		地先	

**●現状の課題**  
 洪水防御を担っている長大な堤防は、現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有しているとはいえない。  
 破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることとなる。

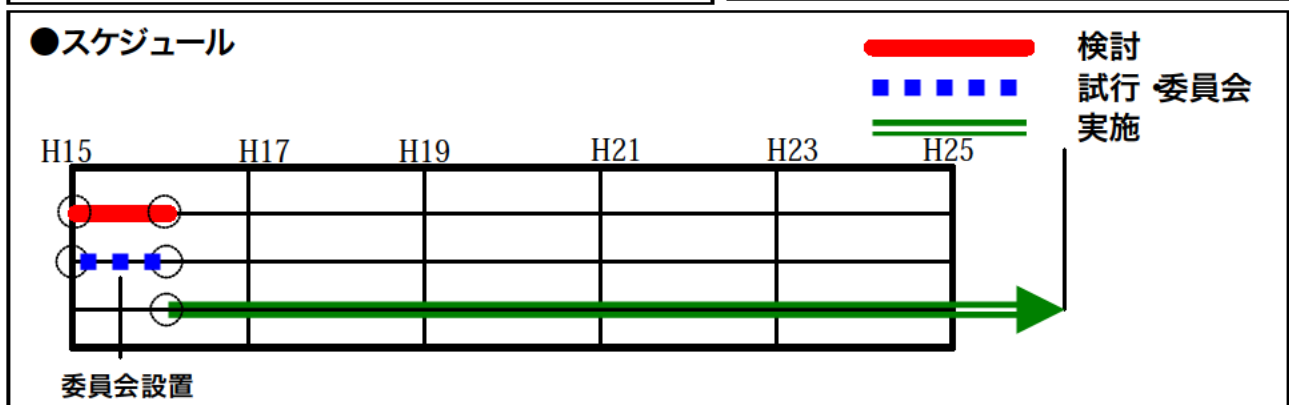
**●河川整備の方針**  
 ②応急的な堤防強化  
 破堤の危険性及び被害ポテンシャルを踏まえて、順次堤防の応急的な堤防強化を実施する。その際、被害の分散化、上下流バランス、投資効率を検討する。  
 <対策箇所の優先度>  
 降雨規模に応じた破堤のしやすさや、堤防背後における人家の状況等を踏まえ、優先的に実施する。



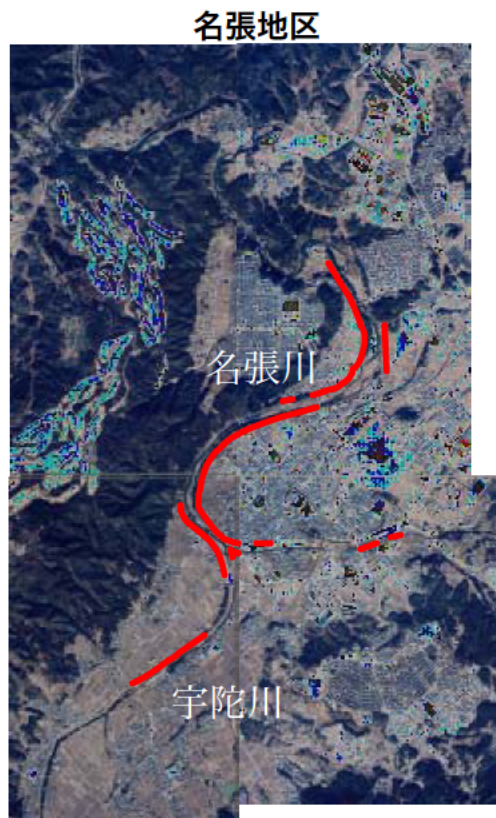
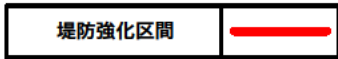
**●具体的な整備内容**  
 7-2 木津川上流  
 ①破堤による被害の回避・軽減  
 ○堤防強化  
 ・応急的堤防強化延長 約25km

事業の数量 諸元等  
 応急的堤防強化延長  
 L=約25.0 km  
 ・右整備計画期間内の数量 諸元等  
 応急的堤防強化延長  
 L=約25.0 km

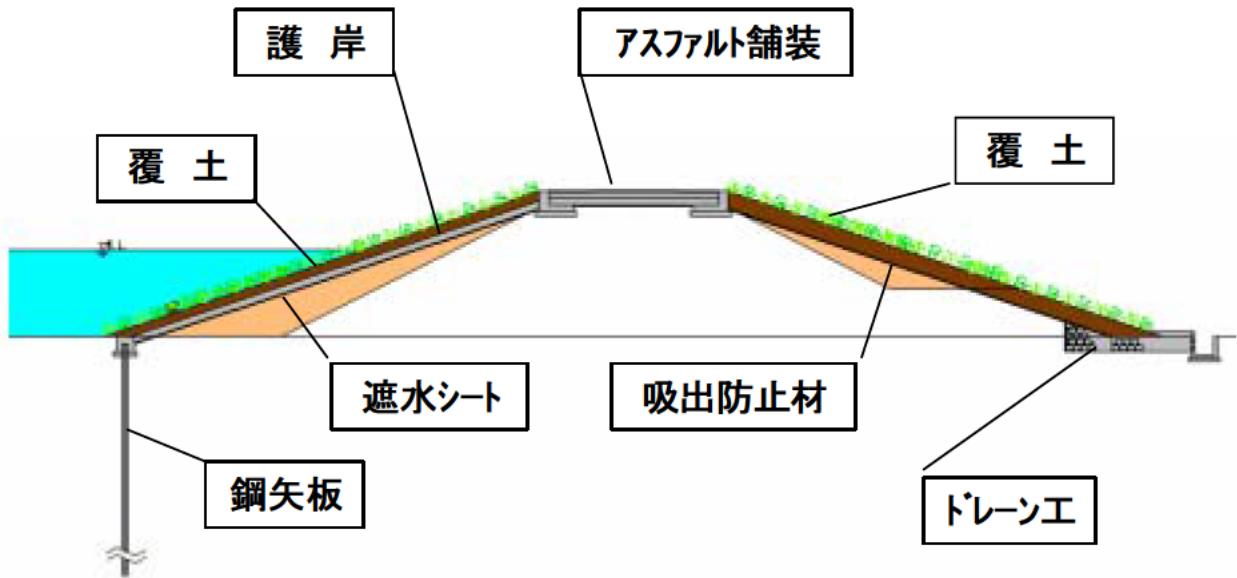
**●事業費**  
 全体事業費 約 330 億円  
 ・右整備計画期間内事業費  
 約 330 億円



●平面図



●横断面図





説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.16	行	10行目
事業名	上野遊水地事業		河川名	木津川上流 (上野地区)		
府 県	三重県	市町村	上野市	地先	-	

**●現状の課題**  
 木津川の岩倉峡上流の上野地区は堤防が比較的低く、破堤による大きな被害の危険性は少ないものの、狭窄部が支障となっており、浸水が生じやすい地域である。

**●河川整備の方針**  
 狭窄部上流の浸水被害に対しては、狭窄部の開削は当面できないことから、既往最大規模の洪水に対する浸水被害の解消を目標として狭窄部上流における対策を検討する。  
 当面の被害軽減処置としては、既設ダムの治水強化、並びに流域内貯留施設の整備を検討する。

**●位置図**

上野遊水地

**●具体的な整備内容**  
 ②浸水被害の軽減  
 ○狭窄部上流の浸水被害の解消  
 岩倉峡上流における浸水被害対策として上野遊水地事業を継続実施

事業の数量 諸元等  
 越流堤・排水門 4箇所  
 堤防嵩上げ L= 10.3 km

・**㊦**整備計画期間内の数量 諸元等  
 越流堤・排水門 4箇所  
 堤防嵩上げ L= 10.3 km

**●事業費**  
 全体事業費 約 717 億円  
 ・**㊦**整備計画期間内事業費 約 180 億円





**●スケジュール**

H15	H17	H19	H21	H23	H25

■ 検討  
■ 試行 委員会  
■ 実施

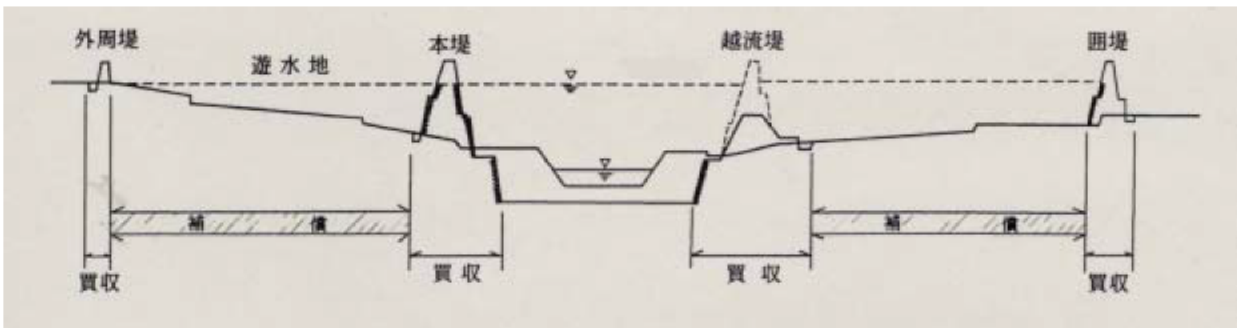
●平面図



	排水門
	越流堤
	堤防嵩上げ
	周囲堤 (完成)

●遊水地横断面図

遊水地断面図





説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.16	行	13行目
事業名	無堤地区等の浸水被害の軽減		河川名	木津川上流 名張川 宇陀川)		
府 県	三重県	市町村	名張市 室生村		地先	

●現状の課題  
堤防が未整備である区間があり既往最大規模の洪水に対して浸水被害がおきる。

●河川整備の方針  
一部区間の堤防が未整備である区間等については、速やかに事業を完了し浸水被害の軽減を図る。

●位置図

室生ダム 青蓮寺ダム 比奈知ダム

●具体的な整備内容  
名張川 宇陀川上流部の既設ダムの運用変更の検討

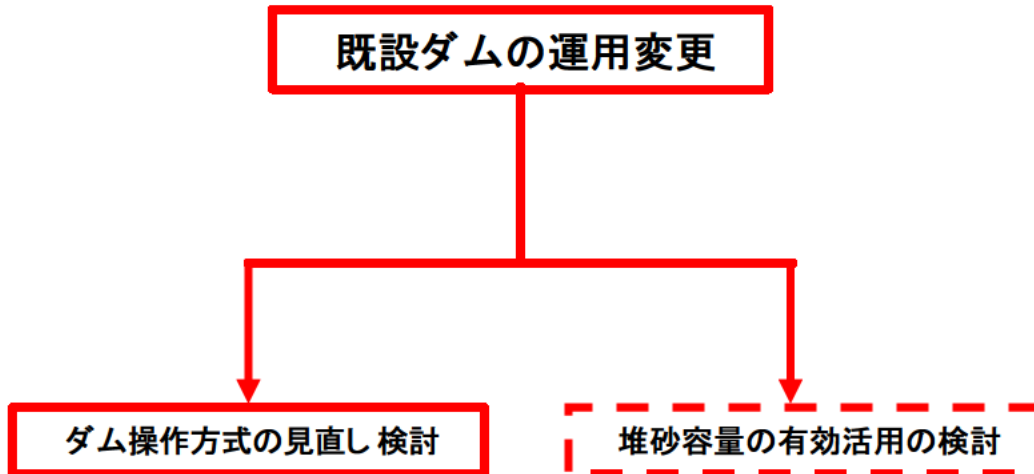
検討内容  
検討フロー参照)

●スケジュール

— 検討

H15	H17	H19	H21	H23	H25

●検討フロー

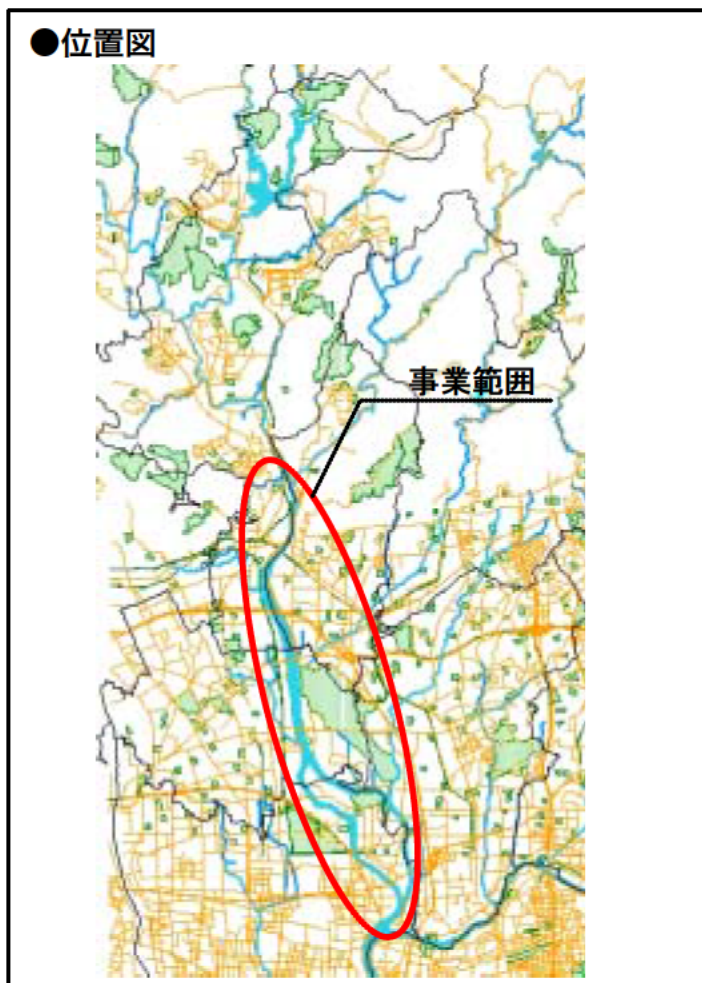


- ・河川整備状況の確認
- ・対象洪水の検討(大洪水、中小洪水)
- ・洪水規模における浸水想定区域の検討
- ・関係機関との調整
- ・下流住民等への説明
- ・下流の整備状況にあわせ、段階的に見直し
- ・洪水調節方式の変更

説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.16	行	17行目
事業名	応急的堤防強化		河川名	猪名川・藻川		
府 県	大阪府、兵庫県	市町村	－	地先	全川	

●現状の課題  
現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有していない。破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等も破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。

●河川整備の方針  
②応急的な堤防強化  
堤防の危険性及び被害ポテンシャルを踏まえ、応急的堤防強化を実施。  
その際、被害の分散化、上下流バランス、投資効率を検討。

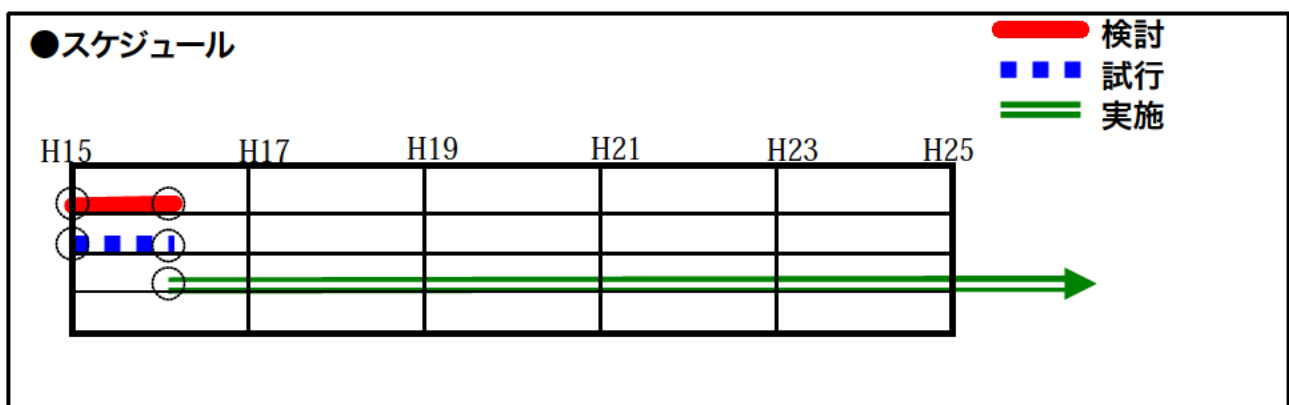


●具体的な整備内容  
応急的堤防強化 約38km  
(浸透、洗掘、越水対策)

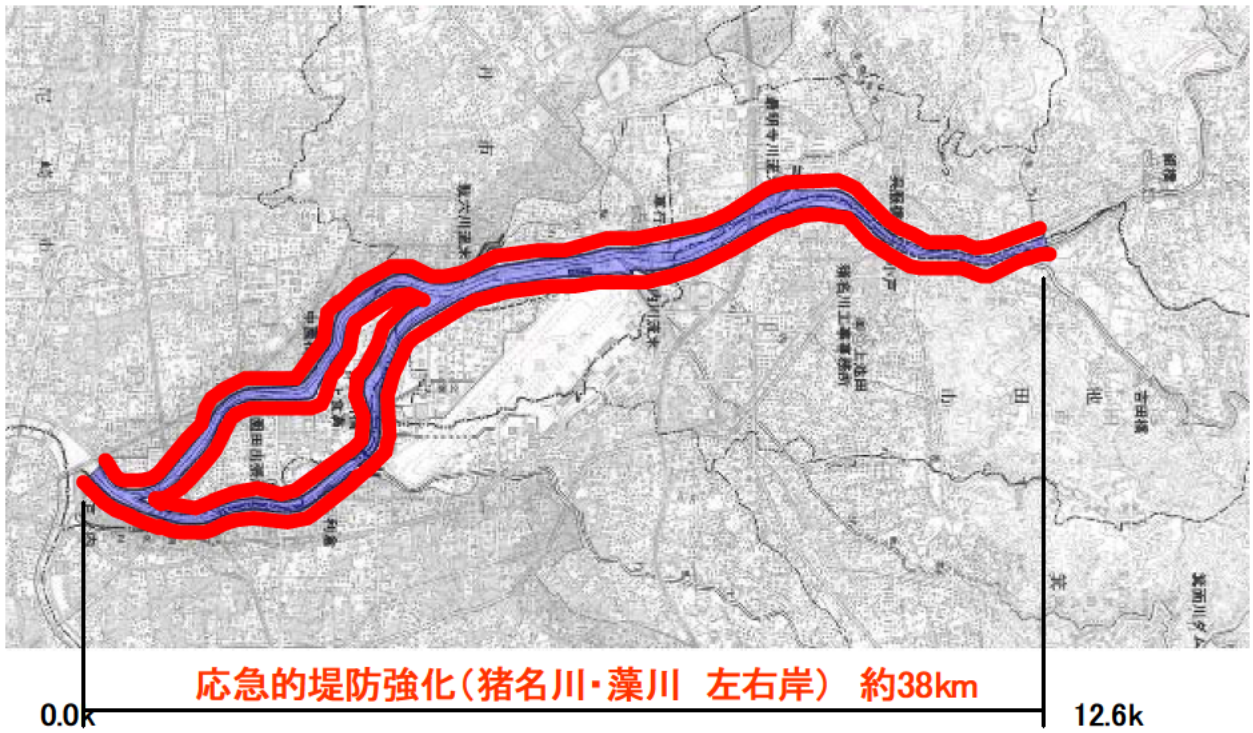
事業の数量 諸元等

浸透対策 約38km  
洗掘対策 約38km  
越水対策 約38km  
(対策延長 重複あり)

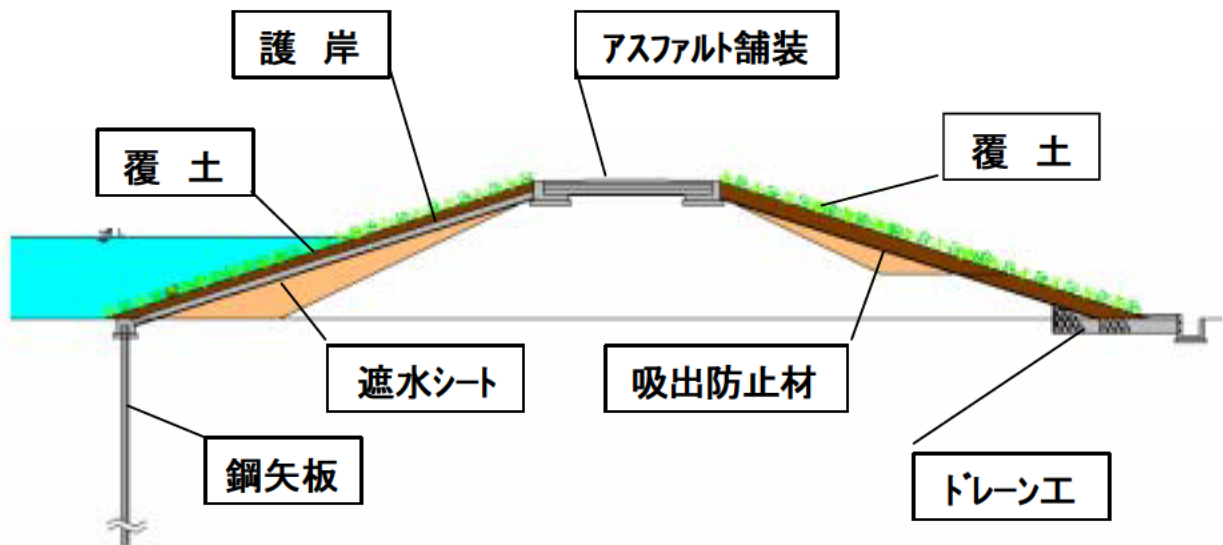
●事業費  
全体事業費 約460億円  
・うち整備計画期間内事業費 約460億円



●平面図



●横断面図



応急的堤防強化対策の一例



説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.16	行	23行目
事業名	川西 池田地区の築堤		河川名	猪名川・藻川		
府 県	大阪、兵庫	市町村	池田市、川西市		地先	-

**●現状の課題**  
 狭窄部下流の山地部から平地部へ流れ出る箇所に無堤地区が存在し、ここからの浸水は地形上閉鎖的な浸水にとどまらず、伊丹地域から大阪平野北部へと広がることが予測される。

**●河川整備の方針**  
 下流の破堤の危険性を増大させる無堤部の築堤等は、下流の堤防強化の進捗状況等を見て判断することが原則であるが、既に一連区間の整備が進められてきており、ごく一部の区間のみが未整備である区間等については、速やかに事業を完了し浸水被害の軽減を図る。



**●具体的な整備内容**  
 川西、池田地区の築堤を継続実施

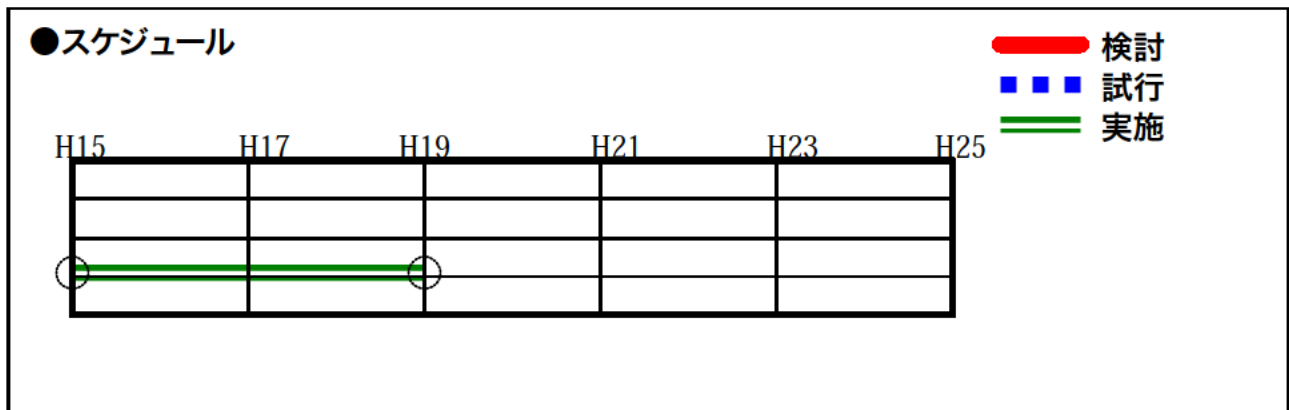
**事業の数量 諸元等**

築 堤	約4 km
樋門・樋管	5基
橋 梁	2橋

**・㊦整備計画期間内の数量 諸元等**

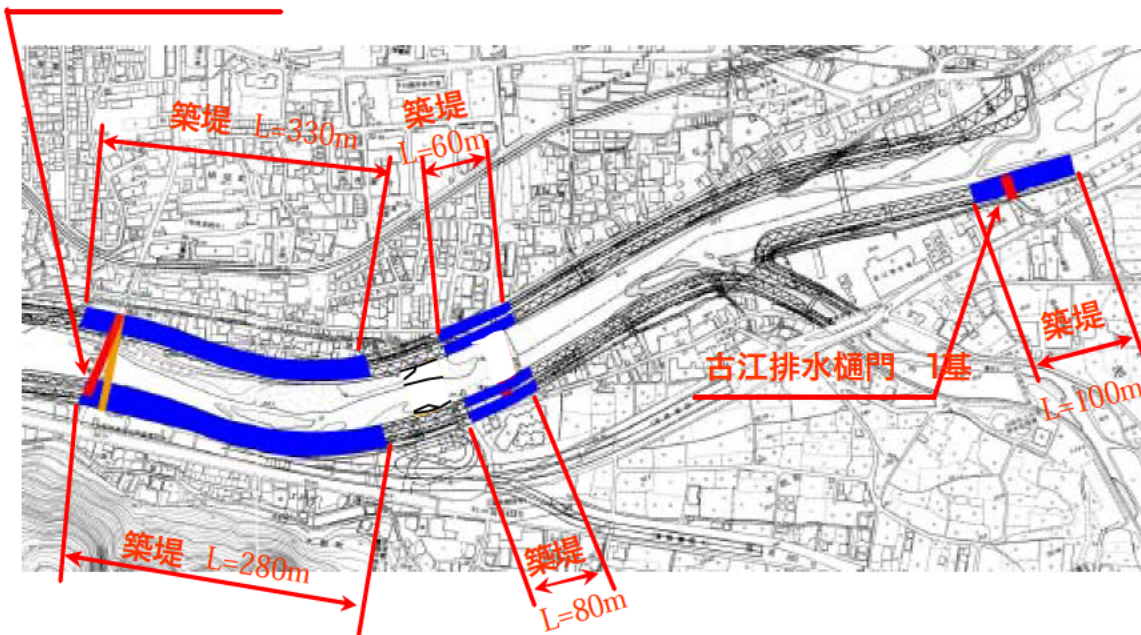
築 堤	約1 km
排水樋門	1基
橋 梁	1橋

**●事業費**  
 全体事業費 約 480 億円  
 ・㊦整備計画期間内事業費 約 38 億円



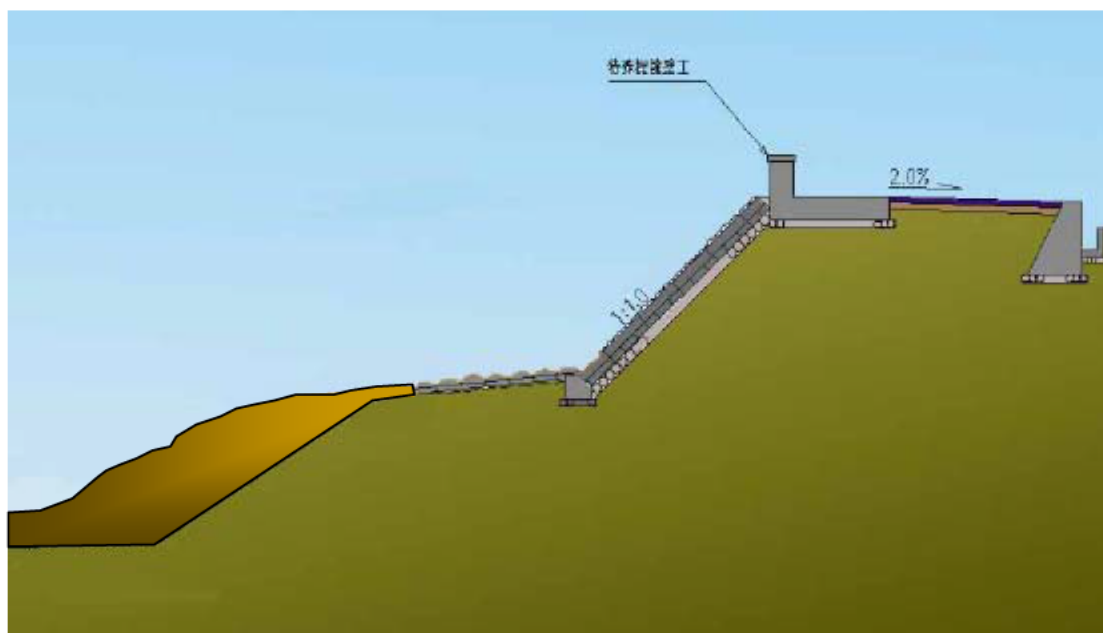
●平面図

絹延橋架け替え



●横断面図

<標準断面図>



説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.16	行	29行目
事業名	応急的堤防強化		河川名	支川 芥川		
府 県	大阪府	市町村	高槻市		地先	－

●現状の課題  
現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有していない。破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。

●河川整備の方針  
②応急的な堤防強化  
破堤の危険性及び被害ポテンシャルを踏まえ、応急的な堤防強化を実施。  
その際、被害の分散化、上下流バランス、投資効率を検討。

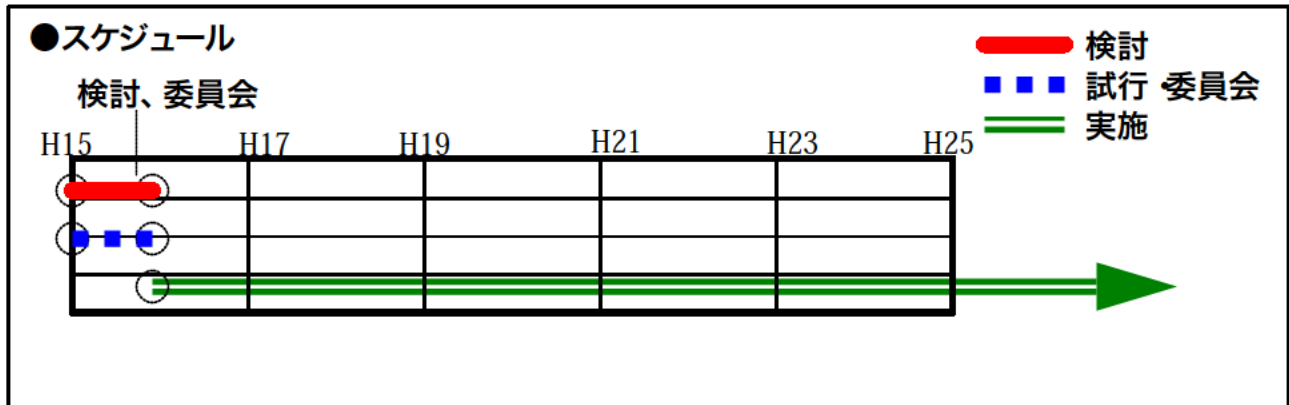
●位置図

事業箇所

●具体的な整備内容  
・応急的堤防強化延長 約5km

事業の数量 諸元等  
浸透対策 L=5km  
越水対策 L=5km  
(対策延長 重複有り)

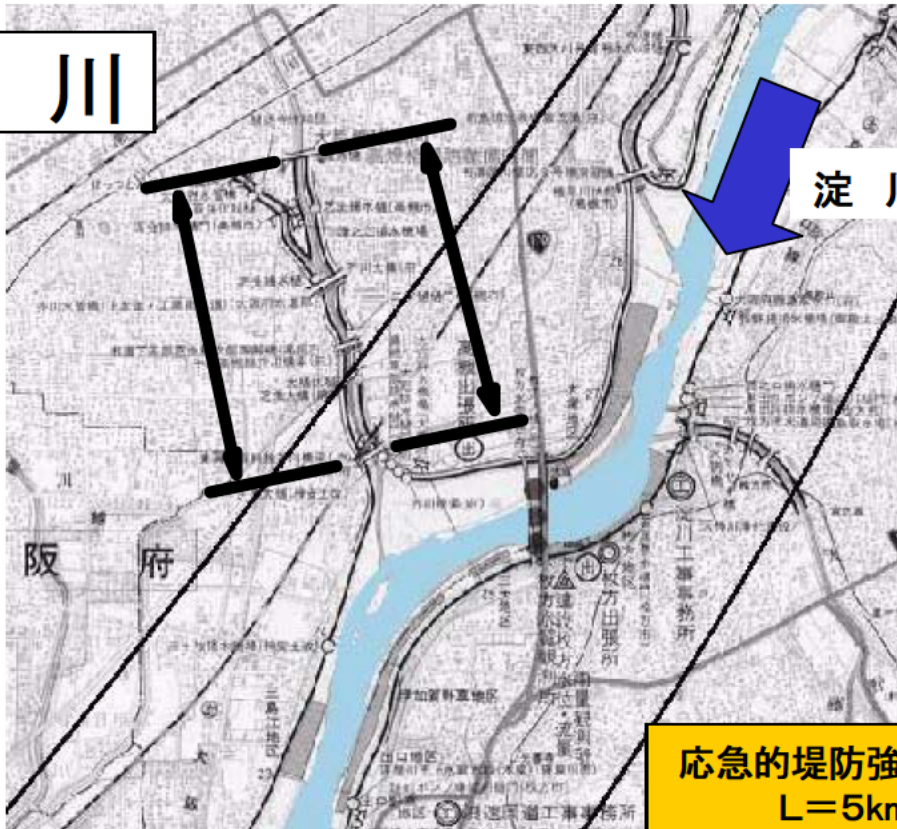
●事業費  
全体事業費 約 96億円  
・5 整備計画期間内事業費 約 96億円





●平面図

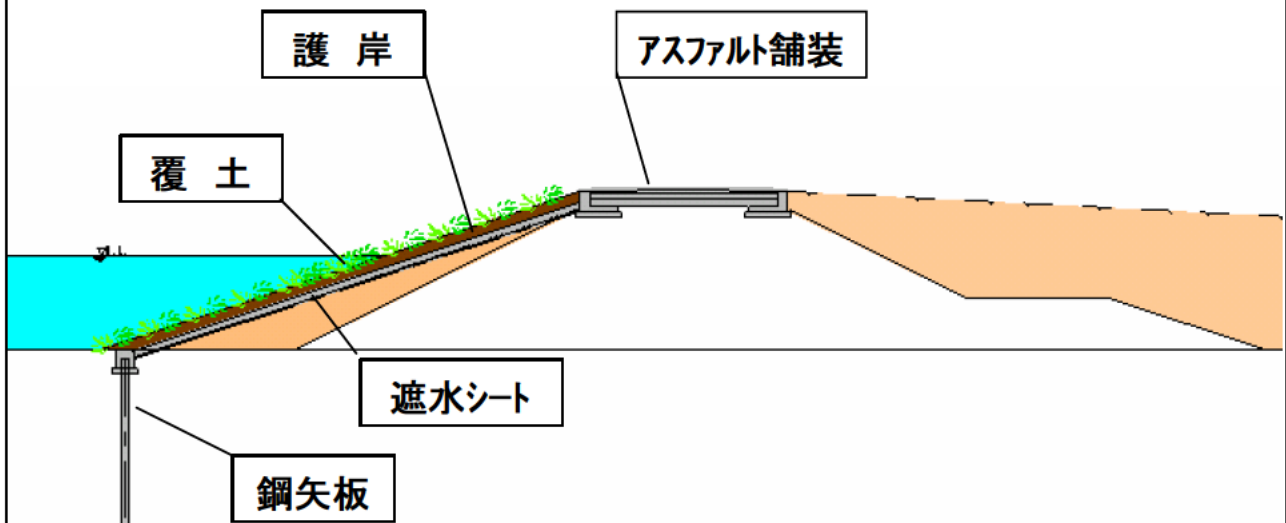
芥川



淀川

応急的堤防強化区間  
L=5km

●横断面図



応急的堤防強化対策の一例



説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.17	行	2行目
事業名	芥川大橋の架替を継続実施		河川名	芥川		
府 県	大阪府	市町村	高槻市		地先	－

●現状の課題  
現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有していない。破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。

●河川整備の方針  
②浸水被害の軽減  
既に一連区間の整備が進められてきており、ごく一部の区間のみが未整備である区間等については、速やかに事業を完了し浸水被害の軽減を図る

●位置図



●具体的な整備内容  
芥川大橋(大阪府一体施工)の架替を継続実施

事業の数量 諸元等  
橋梁架替

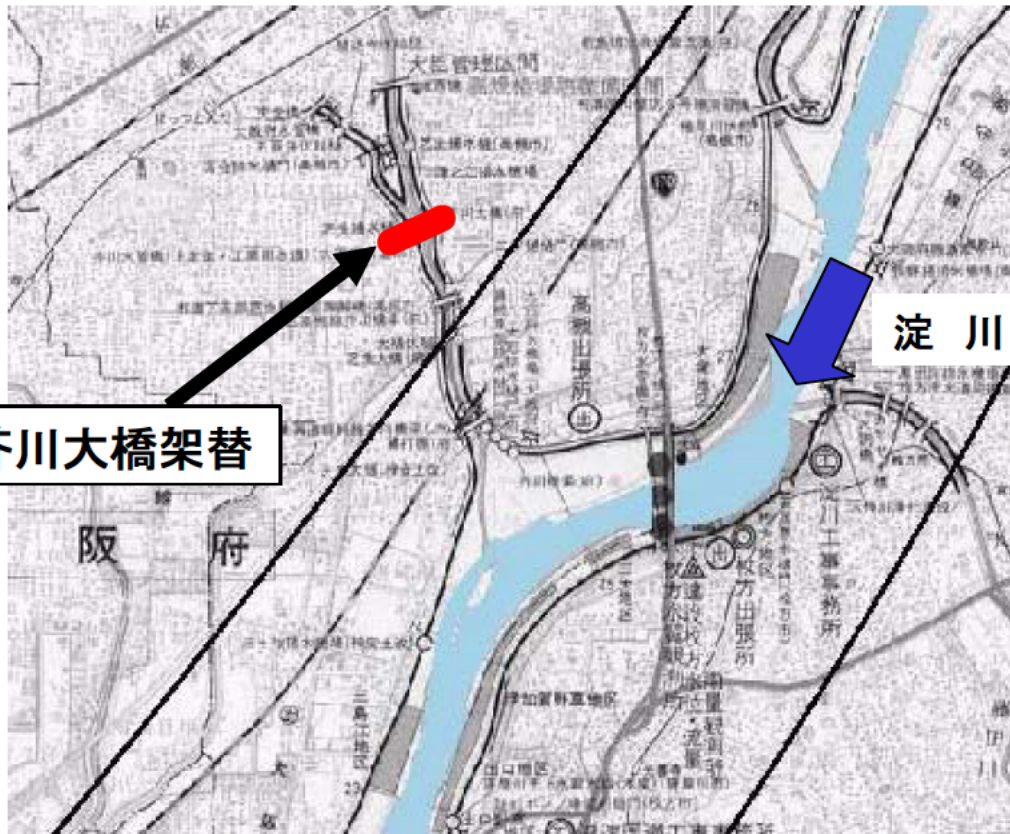
●事業費  
全体事業費 約 5億円  
・5 整備計画期間内事業費 約 2億円

●スケジュール

	H15	H16	H17	H18	H23	H25
検討						
委員会						
実施	○					

Legend:  
■ 検討  
■ 委員会  
■ 実施

●平面図

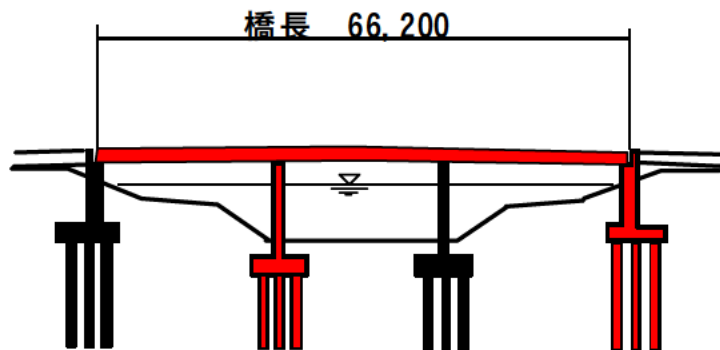


●横断面図

芥川大橋諸元

橋長 66.2m  
 設計速度 60km/h  
 3径間連続非合成鈹桁橋  
 幅員 16.3m

芥川大橋



— 完了  
 — 事業箇所